



令和6年(2024年)3月14日 公表
令和5年版 山口県日本海側重要魚種の資源評価

ヒラメ (日本海西部・東シナ海系群)

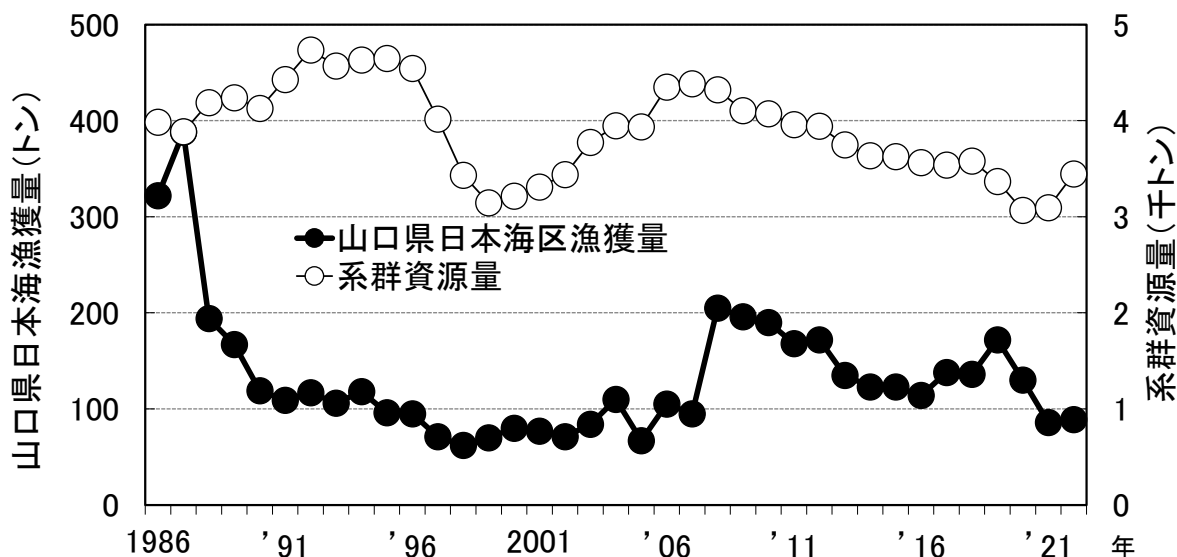


図 山口県日本海区ヒラメ漁獲量 (漁業・養殖業生産統計年報)及び日本海西部・東シナ海系群ヒラメ資源量 ((国研)水産研究・教育機構資源評価報告書)の推移

【漁業】沿岸域で主に刺網、定置網、小型底びき網により漁獲されるほか、沖合底びき網でも漁獲される。近年、全長 35cm 以下 (1 歳魚以下) の水揚げが顕著に減少し、漁獲の主体は 2 歳魚になっている。

【漁獲量】山口県日本海区の漁獲量は 1987 年の 388 トンをピークとして 1988 年以降減少し、1990 年から 2007 年まで 62~119 トンと低位で推移した。2008 年に 205 トンまで回復したが、その後 2016 年まで減少した。2017 年以降はやや増加したが、2019 年以降減少し、2022 年には 89 トンであった。

【資源状態】資源量は、1997 年までは 3.9~4.7 千トンであったが、1998 年~2002 年には 3.1~3.4 千トンで推移した。2003~2013 年はやや回復し 3.8~4.4 千トンであったが、その後は緩やかな減少傾向にあり、2022 年には 3.4 千トンと推定された。

2022 年の親魚量 (SB) は、目標管理基準値の代替値 (SB_{msy proxy}) を下回った。また、漁獲圧 (F) は 1986 年以降、MSY proxy を実現する漁獲圧 (F_{msy proxy}) を上回った。親魚量の動向は横ばいと判断された。

2022 年漁獲量 (トン)	MSY (トン)	2022 年親魚量 (トン)	目標管理基準値 (トン)	限界管理基準値 (トン)	禁漁水準 (トン)
825	1,091	2,377	4,053	1,921	384

*暫定値